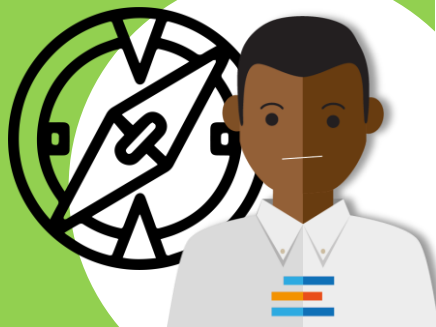


「誰でも  
高ぶる者は低く  
され、へりくだる者は  
高められる」

(ルカ福音書14章11節)

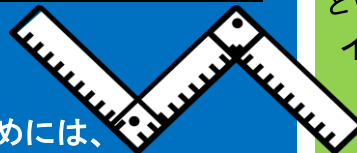


この、イエスの言葉は  
まず私たちに、  
自分という「台座」  
から降りて、エゴイズム  
ではなく神様を中心に  
据えるように  
招いているようです。



確かに神様こそ、  
私たちの人生の  
特等席を  
占めるのに  
ふさわしい方です！

それが  
できるためには、  
神様のために場所を空け、  
神様との関係を深め、  
福音的なへりくだる態度を  
学ぶことは大事です。



自分の自由意志で  
「末席につく」とは、  
イエスを通して神様  
自身が選んだ立ち位置  
を選ぶ、ということです。  
というのも、

イエスは神でありながら、  
すべての人に御父の愛を  
告げ知らせるために、

人間として生きる  
状態を選びました。



謝ること  
の  
大きな  
力！

私は先週病気で休んだので、  
クラスメートの一人に聞きた  
いことがあって後ろを  
一瞬振り向きまして。

ちょうどその瞬間に、  
先生が私を見て  
しまい、すかさず  
「欠席届ノートを  
よこさない。  
あなたの授業態度は  
我慢できません！」  
と言われ、  
教室から  
出されました。

私はなぜ後ろを振り向いたか説  
明しようとしたのですが、先生は  
耳を貸してくれませんでした。

先生は私の父親を呼び出し、  
クラス全員の前で父に、私の  
態度は失礼極まりなく、授業  
を聞かずに遊んでいる、と訴  
えたので、私は不正な屈辱感  
をいっぱい味わいました。



耐えがたいことでし  
たが、この不当な  
仕打ちを受け容れる  
よう努めました。

翌日、この件に関しての面談があり、  
学校に呼び出されました。

私は誤解だったということをも  
訴えたかったけれど、先生は  
きっと受け容れないだろうし、  
どっちにして彼女は自分を正  
当化するだろうと思いました。  
だから先生に謝りました。

不当な仕打ちだったので、謝る  
ことは簡単ではありませんで  
したが、先生を赦すと決心した  
途端、心に平安を感じました。

MLK - オセアニア

一致をめざす青少年(T4U)  
国際事務局による編集済

[www.focolare.org/japan](http://www.focolare.org/japan)

